

週間漁海況情報 2023年第29号

令和5年7月18日発行

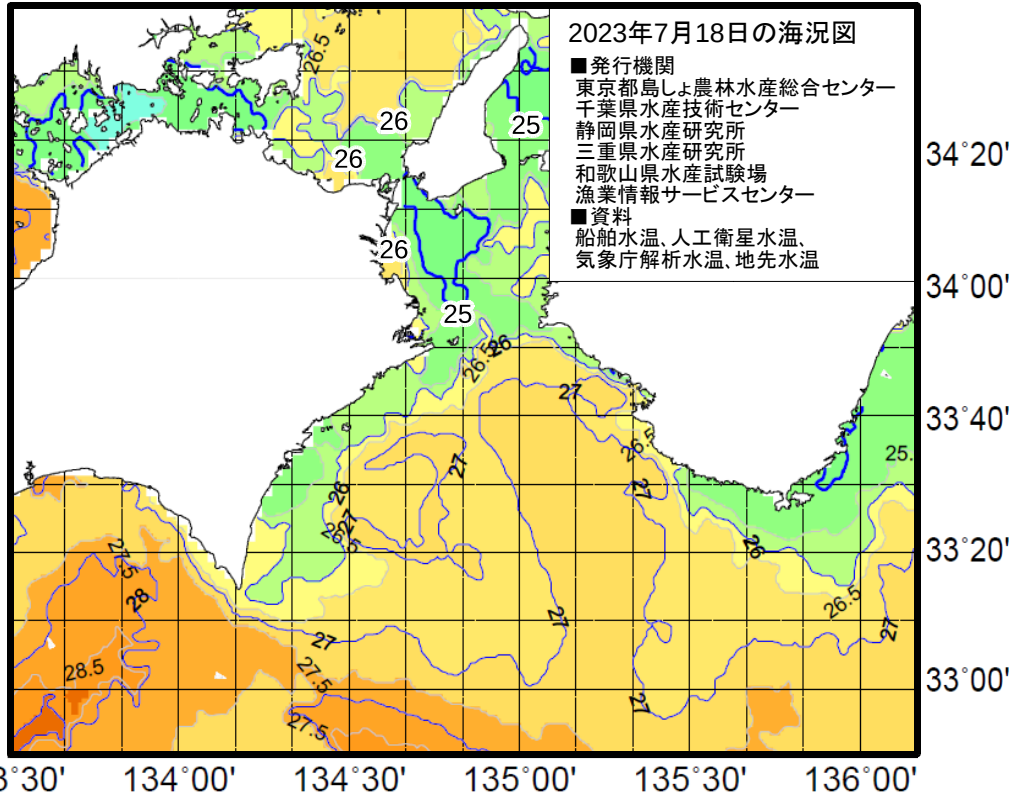
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖54マイル付近、潮岬沖150マイル以上を流れ、室戸で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。引き続き、黒潮分枝流は、紀伊半島沖を南西へ流れている。瀬戸内海の浅海域では26℃を越えるところが部分的に見られる。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸の3海域とも、25～26℃台となっている。

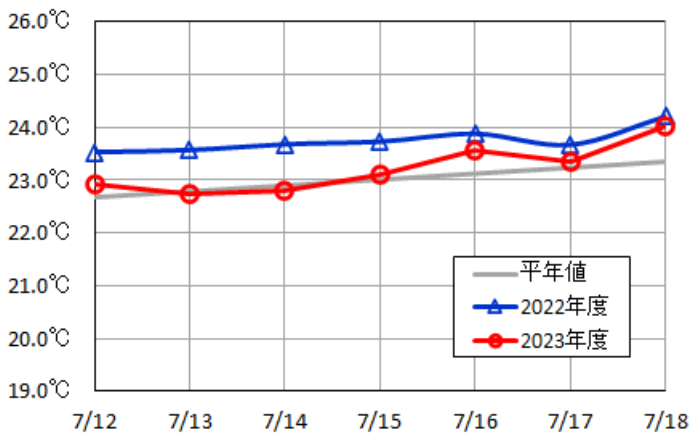


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

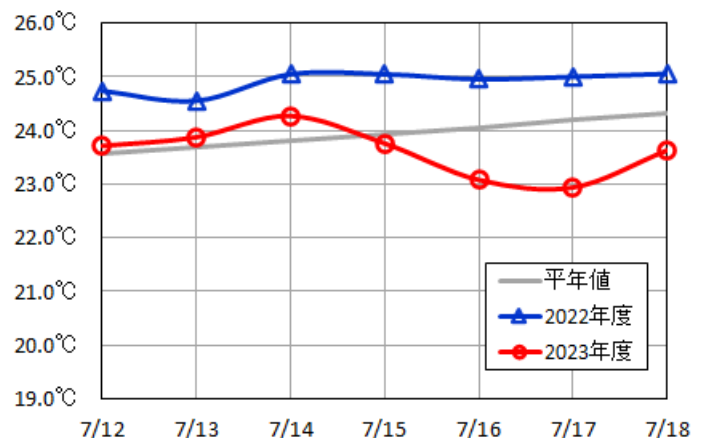
2. 地先水温(7月12日～7月18日)

鳴門地区の水温は、22.7～24.0℃で「平年並み」から「やや高め」、浅川地区22.9～24.2℃で「平年並み」から「やや低め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は-0.4～1.4℃で、後半には鳴門が高かった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(鳴門)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(7月19日～7月25日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「やや低め」で推移する見込み。

漁況 (7月10日～7月16日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが大きく増えて57.1ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて中主体に8.5ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが減って0.6ト、ブリが減って0.3ト、カンパチが増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて中主体に5.4ト、えそ類が減って0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カツオが大きく増えて0.7ト水揚げされた。

延縄では、ハモが1.4ト水揚げされた。

小型定置網では、ウルメイワシが増えて1.7ト、カンパチが0.7ト、マイワシが減って0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが大きく増えて小あじ主体に9.3ト、マルソウダが大きく減って0.5ト、カンパチが大きく減って中主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.20 トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	98	シラス	57,078	582		↗↗
	延縄	85	ハモ	8,461	100	中主体	↗
	小型定置網	13	イサキ	571	44		↘
		8	ブリ	286	36		↘
		11	カンパチ	285	26	大主体	↗
	底びき網	35	ハモ	5,364	153	中主体	↗
		30	えそ類	284	9		↘
海部沿岸	釣り	3	カツオ	746	249		↗↗
	延縄	10	ハモ	1,362	136		→
	小型定置網	15	ウルメイワシ	1,687	112		↗
		14	カンパチ	731	52		→
		5	マイワシ	258	52		↘
	大型定置網	5	マアジ	9,307	1,861	小あじ主体	↗↗
		4	マルソウダ	470	117		↘↘
		4	カンパチ	202	51	中主体	↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘